

# 落合二中 家庭学習の手引き 2年

教科	家庭学習はこのように取り組もう!	試験前はこのように取り組もう!
<b>国語</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読解については、本文とノートを繰り返し読み、授業を何度も思い出しましょう。</li> <li>言語・知識・漢字については、自分が間違えるところを中心に、繰り返しノート等で練習するのが効果的です。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能については、各種(e-ライブラリ、ドリルパーク)に問題が用意されているので、必要に応じて活用しましょう。言語の力は繰り返し問題を解いたり、覚え直したりすることで身に付きます。システム上で自分の間違えた問題に何度も取り組みましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、ワークを繰り返し学習し、問題に慣れておきましょう。</li> <li>自分が間違えるところに印をつけ、そこだけ集中的に学習しましょう。</li> <li>国語は身につけたい能力ごとに学習方法が大きく変わります。それぞれの観点を意識して学習しましょう。</li> </ul>
<b>社会</b> 	<p>(地理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業で習ったことを、その日のうちに「よくわか問題集」で復習することがおすすめです。習ったことを生かして、さらに思考を深めていく作業が大切なので、知識を定着させる意識をもって学習しましょう。</li> <li>「なぜそうなったのか」「どのような影響をもたらしたか」を考えるようにしましょう。社会は暗記だけの教科ではありません。考える姿勢を大切に!</li> </ul> <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業があったその日に、プリントやノートをしっかり見返しましょう。単に語句を覚えるだけではなく、「なぜ」「どうして」という視点が重要になります。</li> <li>歴史は「流れ」を意識することが大切です。出来事の前後のつながりをしっかりと考えて復習に臨んでください。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b></p> <p>(地理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のQRコードを読み取ると、資料の読み取り方を確認したり、関連する映像を見たりすることができます。自宅での学習に活用してみてください。</li> </ul> <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の復習として、ドリルパークやe-ライブラリを活用しましょう。一問一答形式の問題で用語の確認を行うなど、少しずつでも学習に取り組む習慣を身に付けていきましょう。</li> </ul>	<p>(地理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日頃の家庭学習をもとにして、問題集に再び取り組んでみたり、ノートを見返しながら「なぜこのようなことが起こるのか」などを考えてみたりしてください。考えることが、知識の定着につながるはずです。</li> </ul> <p>(歴史)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークやドリルパークなどを活用し、繰り返し問題に取り組ましましょう。</li> <li>ワークは自分で必ず丸付けと間違い直しを行い、どこを間違えたのか、なぜ間違えたのかを明らかにすることが大切です。</li> <li>プリントやノートの赤字、線を引いたところなど、授業中で扱った大切なポイントは、自分で意味や関係性を説明できるレベルまで確認しておきましょう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会は暗記だけでどうかなる教科ではありません。日ごろから勉強を習慣化して、思考力や表現力をつけていかなければならないことを忘れないでください。</li> </ul>

<b>数学</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で習ったその日のうちに、教科書の例題やワークの問題を自力で解き、解き方を完全にマスターしましょう。</li> <li>丸付けとやり直しはしていないに行い、正しい途中式や考え方もすべて書きましょう。分からない箇所はそのままにせず、数日後にまた間違えた問題を自力で解き直しましょう。</li> <li>文章題のような応用問題は、まずは、じっくりと悩んで粘り強く考える時間をとりましょう。例題で使った解き方や考え方をうまく使えないかいろいろと試行してみましよう。徐々に思考力が高まっていきます。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドリルパーク(ベーシックドリル・パワーアップドリル)を自分の学力に応じて解いてみましょう。分からないときは、画面右上にある「考え方を確認」で、ステップに分けた解説を見てください。また、「理解を深める」で類題も解くことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書に出てくる重要な新しい用語を確認し、その意味もしっかり理解してください。</li> <li>教科書やワークの例題を全て解いて、ワーク、ドリルパーク、e-ライブラリなどで類似問題を解いてください。特に、間違えた類似問題は繰り返し解きましょう。1度間違えた問題を2度間違えてしまったら要注意です。</li> <li>テストは時間が決められています。問題をたくさん解いて、正確さとスピードの両方を身に付けていきましょう。</li> </ul>
<b>理科</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習するときに、授業で習ったポイントを、e-ライブラリの解説教材の「ポイント」と合わせて確認して、確認問題を解くと大変有効的です。また、「プリント教材」で全国の高校入試の問題を解くことができます。習った範囲で解ける問題があるか調べて、どんどん挑戦してみましょう。</li> </ul> <p>・教科書とノートを見て、できるだけその日のうちに復習をしましょう。ノートを読みながら他人に解説できるとより授業内容の理解が深まります。声に出して読むことも記憶の定着につながり、おすすめです。また、思い出せなかった部分や疑問が残ったところは、翌日質問したり、自分で調べたりしてみましょう。</p> <p>・授業中に気になったことはすぐに質問したり自分で調べたりしましょう。理科で疑問に思うことは大切なことです。小さな「なぜ?」を大きく広げて、科学への興味関心を高めましょう。課題やワークを積極的に取り組んだりするのもいいですね。</p> <p><b>【ICTの活用】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き時間上手に活用しながらドリルパークなどを活用して、苦手な所を何度もくり返し解き、どんどん減らしていきましょう。</li> <li>NHK for schoolなど、映像教材を活用すると、より直感的に学習内容をとらえられるようになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業ノートや教科書を、繰り返し学習することが大切です。重要用語を覚えるだけでなく、その用語の意味を説明できるようにすることが大切です。</li> <li>ワークなどの練習問題を繰り返し学習しましょう。難しい問題にいきなり挑戦するよりは、簡単な問題にしばらくは良いので、何度も反復することが大切です。そうすることで基礎学力が向上し、応用問題への対応ができるようになっていくはずです。</li> <li>理科の実験はとても大事です。実験でどんなことを行ったのか、結果がどうだったのか、そこから何が分かったのかを復習しましょう。また、実験方法でなぜその操作をしたのか、なぜその薬品を用いたかなどを説明できるようにしましょう。</li> <li>友達同士で問題の出し合いや解説をしようすることもおすすめです。教えあうことで理解も深まりますし、記憶にも残ります。また、ささいなことでも遠慮なく先生に質問しましょう。</li> </ul>

<p><b>音楽</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日取り組むような課題は特にありませんが、その日の学習内容の振り返りや、学習プリントの間違い直し、定期考査前の復習などを行いましょ。</li> <li>• 音楽室では、まだ大勢で大きな声で歌うことが難しいので、授業で学習している曲を、可能であれば家庭でマスクをとって、歌ってみてください。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b> スクリーンメニューの録画機能を使って自分の歌を撮り、再生、確認すると、技術の向上に役立ち、オススメです。(ただし、容量が大きいので確認後は削除しましょう。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教科書、楽譜、学習プリントなどをよく見直し、授業での学習内容を思い出して、復習しましょう。</li> </ul>
<p><b>美術</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作品が授業内に終わらない場合は、提出日まで各自で完成させましょう。</li> <li>• 1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業で試験範囲のポイントの説明します。そこを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。</li> </ul>
<p><b>体育 (男子)</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業の中で、説明があった単語やルールを復習しておきましょう。</li> <li>• 体力向上のために、ランニングや体幹トレーニングなど、家庭でも取り組みましょう。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b> • 授業時に撮影した動画を家庭で確認し、次の授業時に課題意識をもった状態で参加しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業中に説明があった内容をよく確認しましょう。</li> <li>• 実技については、中学校体育実技を活用しましょう。</li> <li>• 保健分野はノートをよく確認しておきましょう。</li> <li>• 授業内での安全面や技能面の重要なポイントを振り返っておきましょう。</li> </ul>
<p><b>体育 (女子)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業で習ったことをしっかりと学習カードに書き留めましょう。</li> <li>• 授業の中で配られたプリントや学習カードをよく見直しおきましょう。</li> <li>• 授業で体育のない日にも、適度な筋トレやストレッチを行って、体力や柔軟性を高めていきましょう。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b> • 授業で撮影した動画を見て課題を見つけ次回の授業に生かせるようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業で配布したプリント、教科書、学習カードのポイントを中心に勉強を進めましょう。</li> <li>• 提出物は、期限までに必ず出しましょう。</li> </ul>
<p><b>技術</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 用語の意味を理解し、覚えましょう。(概念的な学習が多いのでしっかりポイントをおさえましょう)</li> <li>• プリント教科書を1日5分でも良いので目を通しましょう。</li> <li>• 理解できていないところはそのままにせず、友達に聞か先生に聞きに来ましょう。</li> <li>• 今学習している内容を理解し、覚えておくと、3年生でお得です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プリントや教科書の内容を理解して覚えましょう。</li> </ul>

<p><b>家庭</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道具や材料などの名前を覚えましょう。そして、積極的に家庭の仕事を手伝い、学習を通して分かったこと、できるようになったことを繰り返し実践していきましょう。</li> <li>• 特に、長期休業中はできることをいくつか決め、計画的かつ定期的に取り組みましょう。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b> • 授業時に調理や被服製作のポイントを写真や動画を参考にして、家庭実践の際に生かしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 試験範囲の教科書をしっかり読み直し、大切なところにマーカーを引き、確認しましょう。</li> <li>• プリントを参考にして、繰り返し覚えましょう。</li> <li>• 実習技能は、実生活の中で繰り返し取り組むことで技能が定着します。</li> </ul>
<p><b>英語</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業でも伝えていますが、英語力に加えて、国語力が必要になります。国語の授業や読書を大切に！</li> <li>• 日々ある単語テストに真剣に向かいましょう。英語は積み重ねの教科。1年生ができないと2、3年生は何もできなくなってしまう可能性があります。</li> </ul> <p><b>【ICTの活用】</b> • 授業で宿題になっている予習に取り組んでください。教科書内にあるQRコードを読み取れば、単語・本文の発音をしてくれます。単語練習には発音が必要です。授業の前に取り組めば、必ずスムーズに授業を受けられます。まず日々の宿題を確実に取り組んでいるかを確認してください。2年生になるとより1年生の基礎が大切になります。日々の予習や復習を大切にしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 繰り返し学習 →テスト前だけではなく、日頃から… ①ノートの問題を繰り返し学習</li> <li>②ミニラボを赤シートで隠して繰り返し学習</li> <li>③タブレット端末を使って、発音の確認と練習 →英語は語学なので、話すことが一番大切です。</li> <li>④国語力の大切さ</li> </ul> <p>これからより長い文章を読むようになっていきます。そのために、文章を読む力である国語力が必要です。日頃から読書や国語の授業に熱心に取り組む必要があります。課されている課題には必ず取り組む。後悔のない3年生を迎えるために…！</p>

**自分に合った勉強方法を早く見つけて、努力し続けよう!!**